

鉄は産業の基礎をなすものですが、それだけに国内外の経済変動に敏感に反応します。大きく変動する鉄の需給関係にあって、常にお客様の立場を第一に考え、安定した供給体制を実現するために、平成二十一年八月、前身の丸龜スチールセンターから分離独立し、株式会社富士鋼材スチールセンターは設立されました。

当社は主に鋼板、鋼材の切断加工、倉庫業ならびにトンネル用支保工等の土木建材の製作を行っています。面積一八、八〇〇㎡の建屋を活用して充分な在庫量を確保、正確な在庫管理と厳しい品質管理に努めています。主要取扱商材は棒鋼（丸棒）で、当社が棒鋼のストックヤードとしての中心的な役割を担っています。棒鋼は、経済情勢を敏感に反映するため常に相場が変動し、不安定な需給状況に陥りやすいのですが、我々のモットー「お客様第一」に基づき、必要なときに必要な量をお届けできるよう、豊富な在庫を生かし、棒鋼の確実なデリバリーを実践し続けています。

鋼板・形鋼の製作、加工においても当然「お客様第

一」、幅広いニーズにお応えすべく社員一丸となって日々努力しています。ガス及びプラズマ切断、レーザー切断、溶接ロボット等、最新鋭の設備を駆使し、高度な技術で設立以来鋼材に付加価値を与え続けています。プラント、橋梁、鉄骨、建機、船舶と多岐にわたる製品を取り扱っており、特に橋梁においては鋼板が十七メートルになるものから、板厚の寸法交差がプラスマイナス〇を要求されるほど緻密な作業を行うことも多々あります。出来上がった製品は当社敷地内に保有している専用の岸壁から運搬しています。海を利用することにより、陸路では難しい幅広、長尺の鋼板をスムーズに運ぶことが可能です。

このように、自ら製作し、現場納入まで一貫した体制を取ることによって、現場からの仕様変更にもスピーディー且つ柔軟に対応しています。現場と共に歩み続けることを自負し、また、その経験と知識を生かすことによつて、社員一人一人が「物づくり」の喜びと、製品に対する責任を感じて働いています。

社内の安全衛生に付きましては、社員十八名、協力会社社員七名、派遣社員一名の計二十六名で毎月、各課内安全会議を実施し、月末に係長以上、六名にて課

内安全会議資料に基づき、合同安全衛生会議を開催しております。特に、ヒヤリハットを重視し、事細かく、討論しあい、重大災害発生防止に努めています。又、毎週一回、週末清掃タイムを三十分取り、各職場の清掃、片付け等、職場環境の整備を、全員で行う事により安全意識の向上を図り、結果も表れ、各自が4S、5Sに対し前向きに取り組む様になり、ヒヤリハットも減少しております。

しかし、ここ数年は、自然災害の地震、ゲリラ豪雨、毎年のお如く上昇しております夏場の気温による作業環境の悪化等、地球的規模で考えて行かなければならない状況が目先に迫りつつあり、いかにして我々にもできうる改善策を講じて、微力ながらもより良い作業環境、安全環境作り、取組んで行かなければならないといった事も、過言ではない時代ではないでしょうか。

最後になりますが、『安全は全てにおいて優先される』という事で、皆様方のご安全、ご多幸、ご繁栄を、ご祈願致します。簡単ではございますが、わが職場の紹介と、させて頂きます。

（株）富士鋼材スチールセンター

丸亀事業所

所長 安田 正弘